

みやぎ生協 福祉活動助成金 助成活動報告書

みやぎ生活協同組合

~~理事長 宮本 弘 様~~

団体名	ほっとスペースわか	
代表者名	佐藤 和枝	
連絡先	TEL : 090-9740-1326 FAX : 0225-90-3092	E-mail sato.kazue8@gmil.cm

1、助成事業報告

助成を受けた事業名	不登校の子どもや親御さんが安心して暮らせる地域社会を目指し、不登校を考える講演会を2回実施する。
事業の目的	<p>不登校は全国的に増えおり、宮城県では全国でも1番に多いという状況。</p> <p>1回目の講演会では、不登校で悩んでいるお子さんや家族の方、学校関係者の方や行政の方、応援したい地域の方々等と共に「NPO 法人東京シューレ」学園長で文部科学省「フリースクール等に関する検討会議」委員も務める奥地圭子さんのお話を聞き、不登校について、多様な学びや支援の在り方を学ぶ。また、教育機会確保法は「不登校は問題行動ではなく、一人ひとりにあった多様な学びの支援が必要」としている。講演会を通して、学校に行けない子どもたちの学びや生き方をどう支援していくのかの課題を、地域全体で考えていく機会にする。</p> <p>更に、子どもが不登校やひきこもりで悩んでいる親御さんの中には、様々な被害体験（虐待経験、DV被害など）を持ち親御さん自身が生きづらさを抱えていたり、ひとりで子育てをしている親御さんが少なくない状況にある。2回目の講演会では、講師に「女性のためのとまり木・リカバリートレーニングセンター・しおり」施設長の小川真美さんと呼び、親御さん自身が抱える困難について理解を得ながら、困難の解決を探る機会をつくる。</p>

<p>事業の具体的内容</p>	<p>●1回目 2019年10月講演会具体的内容 講演会タイトル 「不登校を考える」～子どもが安心して学び育つ～内容</p> <p>講師：奥地圭子氏 「NPO 法人東京シュール」学園長・初代校長 「NPO 法人登校拒否・不登校の全国ネットワーク」 代表理事・文部科学省「フリース、クール等に関する検討会議」委員など</p> <p>開催日：10月26日（土） 講演会：13:00～14:30 質疑応答・座談会：14:30～16:00 場所：平筒沼 YOUYOU 館</p> <p>●2回目 2020年2月講演会具体的内容 講演会タイトル 「不登校・ひきこもりと女性をとりまく問題を考える」 講師：小川真美氏 女性のためのとまり木・リカバリートレーニング センター「しおり」施設長</p> <p>開催日：2020年2月8日（土） 講演会：13:00～14:30 質疑応答・座談会：14:30～16:00 場所：宝江ふれあいセンター</p>
<p>活動の開始から完了までの流れ</p>	<p>●1回目講演会 「不登校を考える」～子どもが安心して学び育つ～</p> <p>2019年4月24日 「NPO 法人東京シュール」理事長の奥地圭子氏を講師に招き、講演会「不登校を考える」～子どもが安心して学び育つ～を開催することとした。開催期日は2019年10月26日（土）、開催場所は登米市米山町「平筒沼 YOUYOU 館」に決定した。 本講演会は、仙台市の不登校を考える親の会「ひまわりの会」と共催し、双方の連携を図りながら活動を進めていくことと決めた。</p> <p>2019年5月9日 仙台ひまわりの会との打ち合わせ 活動の進め方など</p> <p>2019年5月13日 講演会「不登校を考える」～子どもが安心して学び育つ～を開催行事实施計画、収支予算検討した。検討結果をまとめ、</p>

総会に提案することとした。

2019年6月13日

仙台ひまわりの会との打ち合わせ

広報の仕方・教育委員会への後援依頼についてなど

2019年6月26日

講演会「不登校を考える」～子どもが安心して学び育つ～を開催行事实施計画、収支予算、会則、役員について提案がなされ、承認された。

①講演会「不登校を考える」～子どもが安心して学び育つ～

②講演会「不登校・ひきこもりと女性をとりまく問題を考える」

①と②の二つの講演会について、みやぎ生協福祉助成金に講演会費として助成金を申請することを決定

2019年7月20日

①講演会「不登校を考える」～子どもが安心して学び育つ～

②講演会「不登校・ひきこもりと女性をとりまく問題を考える」

①と②の二つの講演会について、みやぎ生協福祉助成金に講演会費として助成金を申請

2019年7月24日

登米市教育委員会、宮城県教育委員会に後援依頼をすることを決定する。

広報宣伝をどのように進めるか検討

2019年8月9日

宮城県教育委員会へ後援依頼申請書提出に行く

(仙台ひまわりの会同伴)

2019年8月10日

河北新報及び河北広域交流版紙面に講演会告知依頼

2019年8月20日

仙台ひまわりの会との打ち合わせ

2019年8月28日

講演会「不登校を考える」～子どもが安心して学び育つ～チラシの作成について打ち合わせ

2019年8月30日

仙台ひまわりの会と打ち合わせ(奥地さんの講演会の日程とチラシのすり合わせ)

2019年9月1日
講演会「不登校を考える」～子どもが安心して学び育つ～チラシの最終版作成

2019年9月2日
講演会「不登校を考える」～子どもが安心して学び育つ～原稿をプリントバックに入稿

2019年9月7日
10:30～13:00～みやぎ生協福祉助成金助成金授与式出席

2019年9月25日
講演会「不登校を考える」～子どもが安心して学び育つ～広報の仕方・当日の流れ・準備物・役割分担など話し合う

2019年9月5日 午後
講演会「不登校を考える」～子どもが安心して学び育つ～共催の仙台ひまわりの会との打ち合わせ広報について

2019年10月3日
登米市内小中学校の児童生徒へチラシを配布するため仕分け作業
YOUYOU 館の下見、申し込み確定、豊里公民館へ機材（音響を借りに行く）

2019年10月7～8日
社会福祉事務所（南方支所内）
市教委ポスト投函（登米市内小中学校の児童生徒へチラシを配布）
宝江ふれあいセンター・共催スマイルむさし・育英学園・飛鳥未来・迫ロータリクラブ（山田地所）・元ワーカーズコープ・ひまわり・みやぎ生協加賀野・迫支所・ドクターズカフェ

2019年10月15日
はっ@fm で放送「不登校を考える」～子どもが安心して学び育つ～のラジオ放送で広報する。

2019年10月16日～10月26日まで10日間
はっと fm で10/26 講演会「不登校を考える」～子どもが安心して学び育つ～の広報をラジオ放送で流す。

2019年10月23日
講演会「不登校を考える」～子どもが安心して学び育つ～の準備・会場下見

2019年10月24日
講演会「不登校を考える」～子どもが安心して学び育つ
～最終打ち合わせ。

2019年10月26日
講演会「不登校を考える」～子どもが安心して学び育つ
～当日（参加者70名）
懇親会：手のひらに太陽の家）15名（奥地さん含む）

2019年10月27日
佐藤奥地圭子氏を講演会送迎。
仙台講演会に出席

2019年10月28日
奥地圭子氏講演会振り返りアンケートチェックなどを行
う

2019年11月14日
仙台ひまわりの会と打ち合わせ 助成金の使途（清算）

●2回目講演会
不登校・ひきこもりと女性をとりまく問題を考える」

2019年11月22日
市教育委員会訪問（奥地さんの報告と次回2月8日の講
演会について教育長との懇談）

2019年11月26日
2020年2月8日講演会「不登校・ひきこもりと女性をと
りまく問題を考える」の後援依頼を市教委に提出

2019年11月26日
沿岸ブロック警察ボランティア実践塾にて講話（佐藤）
の当日、2月8日のチラシ配布

2019年11月27日
定例会にて講演会「不登校・ひきこもりと女性をとりま
く問題を考える」について、チラシの内容を検討する。

2019年12月18日
講演会「不登校・ひきこもりと女性をとりまく問題を考
える」について講師の小川さんと打ち合わせ（小川さん
の施設しおりにて）

2019年12月25日
講演会「不登校・ひきこもりと女性をとりまく問題を考

	<p>える」のチラシをわかメンバーが各自行う。登米市教育委員会、登米市各学校行ホスト投函、登米市内社会福祉協議会、宮城県保健所、各町公民館、子ども建て支援課、道の駅市役所など。</p> <p>2020年1月15日 講演会「不登校・ひきこもりと女性をとりまく問題を考える」について講師の小川さんと打ち合わせ（小川さんの施設しおりにて）</p> <p>2020年1月28日 講演会「不登校・ひきこもりと女性をとりまく問題を考える」の広報をはっ@fm ラジオで放送。</p> <p>2020年1月24日 講演会「不登校・ひきこもりと女性をとりまく問題を考える」の河北新報に講演会広報依頼</p> <p>2020年1月28日 講演会「不登校・ひきこもりと女性をとりまく問題を考える」会場下見</p> <p>2020年2月8日 講演会準備と会合（打ち合わせ） 講演会「不登校・ひきこもりと女性をとりまく問題を考える」当日（真美さん送迎佐藤和）</p>
<p>活動の成果と教訓</p>	<p>●1回目講演会 「不登校を考える」～子どもが安心して学び育つ～</p> <p><活動の成果> 当事者をもとより、宮城県教育委員会の方や教職員、各種活動団体の方々など、約70名の方が参加され、奥地氏から不登校の現状・親に知っておいてほしいことや学校が苦しい子どもは確実にいること、不登校を認めない社会の中でおきる二次的状態、安心して休めるとは、不登校の子どもの学習や進路をどう考える、教育機会確保法についてなどの講話を受け、不登校への理解を参加者の方々と深めることができた。</p> <p>奥地氏の講話の後、質疑応答・懇談会を設けが、質疑応答・座談会では、当事者の方を中心に、子どもの状況や親の思いが話され、奥地氏からそれぞれアドバイスを頂いた。その中で、「学校に行かなくても普段の生活から学ぶ機会はたくさんある。子どものありのままを受け入れ、安心して過ごせる場をつくるのが大切」ということを</p>

参加者の方は実感した様子。
講演会を機会に主催側も保護者の方や参加された皆さんにとっても、不登校のお子さんへの接し方を改めて見直すきっかけになったことが成果として挙げられる。

<活動の教訓>

今回の講演会は、仙台の「ひまわりの会」と共催して行ったが、そのことが互いの活動の励みになったことが教訓として言える。

また、登米市で開催したものの、遠くは山形県や岩手県そして県内でも仙台市や石巻市・大崎市等とかなり広範囲のところから参加があり、不登校に関する関心の高さがうかがわれ、今後更に多くの方々と連携を図りながら活動をしていく事が必要と感じた。

そうして、その活動に当たっては、奥地氏が講話の中で、「子供の気持ちでやっていくのが一番」と何度も話しておられたことを受け、ともすると大人の考えで子どもを教育しようとするけれども、子どもさん一人ひとりの気持ちを一番に考えていく事が何よりも大事なことと胸に刻み当会の活動を行っていこうと考えた。

●2回目講演会

不登校・ひきこもりと女性をとりまく問題を考える」

<活動の成果>

参加者は約40名ほどで当事者を始め、幅広い分野の方々が参加され、不登校の子どもたちやひきこもりの人たちが孤立しないことが大切だということを共有しました。

小川氏の講話後は、小川真美氏を囲んでの座談会を設けた。この座談会は、自己紹介をしながら今の自分の抱えている悩みや現状など自由に語り、それについて小川氏が答えたり、参加者のみんなと語り合うなどの時間をとった。

講演会及び座談会を行ったことで

- ・子供の不登校について考え方のヒントになりました。
- ・学校や行政などで取り組んでいる情報なども参考にしたい。
- ・やっぱりみんなでやるのが大切なんですね。
- ・有意義な時間だった。今後もこのような会を続けてほしい。
- ・早速、家に帰って今夜家族のコミュニケーションのあり方に役立てたい。などの感想が聞かれた。

	<p>座談会での交流の様子やこれらの感想を受けて、この講演会では、みなさんそれぞれに、先のような思いを持ち帰られたことが成果として挙げられる。</p> <p><活動の教訓> 不登校・ひきこもりの現状、参加者の感想を踏まえ、今後このような講演会、座談会のような交流が図れる時間を持っていく必要性を感じた。</p> <p>広報の時間が、10月の講演会より少なかったので、もう少し早めの広報をすることが必要だった。 参加者の男女比は、女性の数が圧倒的に多かったので、もう少し男性の方にも参加してもらえる手立てを考えたい。</p>
<p>今後の展望など</p>	<p>今後は地域の子どもさんやご家族、そして地域の皆さんが一人で悩みを抱えず、孤立せず安心して暮らせることを目指す。</p> <p>展望としては、二つの講演会の座談会での語り合いはそれぞれに、抱えている思いを外に出したり、みんなの話を聞いて自分に置き換えたり、ヒントになったりするなど、気づきの多い時間となったので、今後も地域の皆さんが、子育ての事や家族のこと自分のことなどを安心して話せる交流の時間を定期的に行っていける企画をたてていきたい。</p>

2、助成金使途報告書

■ 収入の部

確保した資金内容	金額 (円)	備考
福祉活動助成金	90,000	
入場料	44,000	500円×48人 共催団体参加料 20,000円
合計	134,000	

■ 支出の部

費目	内容	予算額 (円)	実支出額
謝金	講師謝金	40,000	40,000
交通費	講師旅費、宿泊費、スタッフ交通費	40,000	35,930
消耗品費	紙、文具等	5,000	3,021
連絡通信費	切手代等	1,000	3,198
接待費	講師・スタッフ昼食代等	2,000	17,496
広報宣伝費	案内チラシ、わか紹介チラシ、FM 宣伝費等	30,000	30,085
水道光熱費	暖房費	2,000	600
賃借料	ワイヤレスアンプ使用料		1,000
合計		120,000	131,330

* 余剰金は会の活動費に充てる。

2019年10月26日(土) 講演会「不登校を考える」～子どもが安心して学び育つ～ 講師：奥地圭子氏



2020年2月8日(土) 講演会「不登校・ひきこもりと女性をとりまく問題を考える」 講師：小川真美氏

